

CELLISSIMO

http://kobe-cello.com

2月10日、大分市で 第8回定時総会が開催されました。

会員の皆様へ、すでにお知らせしてありますように、左記の要領で定時総会を開催しました。以下、審議・議決された内容について、報告します。

A 審議・承認事項

1 平成19年度事業報告と決算の承認
事業報告、決算は別紙のとおり、特にイクシオントリオ主催公演が収支改善に大きな役割を果たしたことを報告。山本康雄監事から決算書類・記帳内容の適法性と帳票類の整備状況の良好さを確認したこと、報告がなされ、承認された。

2 平成20年度事業計画と予算案の承認

(1) 事業計画
当該年度はイベント事業、招聘事業はじめ特段の事業計画なし。2009年度に備え、情報収集、事前準備にあてたい、との報告があり、承認された。ただし、

・各地域で集まる演奏会を最近あまりやっていないので、赤字が出ないよう、本会計とは別に、何かイベントができたらいとの意見が出された。
↓後記協議事項3にて協議される

(2) 予算

予算は別途のとおり報告がなされ、承認された。ただし
・会員数が減っているのは、会費未納のまま会員でなく
なっている人や「1000人のチェロ・コンサート」の
ときに会員になって、以降は会費を継続しない人が多
いのではないかと、との意見が出された。
↓前年度より始めている年1回の会費支払の連絡により、
徹底できるようになってきていること、今後もそれに加
え、再入会のお願いを求めていることをさらに徹底し
たいとの報告がなされた。

(3) 2010年「第4回1000人のチェロ・コンサート」の開催について
すでに過去の総会で決議決定された2010年「第4回1000人のチェロ・コンサート」開催について再度その意義・場所・時期を確認し、開催のぜひを図つたところ、全会一致で左記のとおり決定した。

①開催の意義・当協会の定款にも定めているようにチェロ演奏により世界平和を世界に向けて発信する(反戦、原水協との連携など見合わせる)。
②開催場所・広島県立総合体育館グリーンアリーナ
③開催時期・8月6日、15日は政治色が強くなる可能性があること・会場・宿泊の確保が難しいことから、その前の5月末から6月上旬とする。
④その他

・前回のような海外から多くのソリストを呼んでのイベントは会計、運営上も厳しいので、お金をかける動員はしない。それにより1000人集まらない場合もありえるが、「1000人のチェロ」は固有名詞化しつつあり、1000人を超えなくてもよいとしていきたい。
・参加費が安すぎるとはならないか↓具体的な内容を決定するときに考えていきたい。
・新しい曲を取り入れた↓まだ手持ちでやっていない曲を探していくとともに、作曲家コンペなども今後検討の余地あり。

4 第4回チェロアンサンブル・コンテストinかさおかの主催承認について

主管者の中村幸太郎理事(笠岡市在住)が内容を説明。主催者をチェロアンサンブル・コンテスト実行委員会に加え、NPO国際チェロアンサンブル協会中国支部とすること。NPO国際チェロアンサンブル協会が特別協力をすることが報告され、承認された。なお、このコンテストは前述の承認事項2(1)での意見にあった各地域での活動として、以前より継続活動しているもので、他の地域の会員の方々の積極的な参加を呼びかけた。「会報誌(本誌)掲示板で確認のうえ、ぜひ皆さんご参加ください」とのこと。

B 協議事項

1 マリア・クリーゲルのオーケストラとの共演コンサート主催について
当該年度の収支改善に「イクシオントリオ」主催公演が大きな役割を果たした。オーケストラ伴奏でのコンサートはチケット販売のリスクもないので、確実にNPOの経済的負担がなく、逆に収支改善に寄与することも予想されるので、2010年4月に向けて準備をしていきたい、との説明があった。

2 ボリス・アンドリヤノフ(ロシア)の招聘コンサートについて

ボリス・アンドリヤノフ氏は、かのヴァインスハイマー氏が、3年前から松本巧理事長に強く推薦していたロシアのチェリスト。ヴァインスハイマー氏から「大変有望で素晴らしい音楽家だから、ぜひマリア・クリーゲルと同じようにNPOで日本に呼んでいただきたい」との要請があったことが説明された。
アンドリヤノフ氏が、松本理事長を2008年2月21日、28日にモスクワでロストロポヴィチ氏追悼を目的に立ち上げられる「第1回モスクワチェロフェスティバル」に招待、理事長は2月21、22日の両日にモスクワを訪れ、アンドリヤノフ氏のコンサートを聴く予定。今後、アンドリヤノフ氏のCDなどを持ち帰り、理事会に諮る予定。

3 公式サイト <http://orisantranov.com/>

またほそれに匹敵するコンサートの開催などについて福岡にて、2009年秋に、ゲリンガス氏が九州交響

NPO国際チェロアンサンブル協会第8回定時総会
日時：2月10日(日) 11:00~12:30
場所：大分市コンパルホール大会議室
出席者：会員数229名のうち158名(うち委任状34名)にて成立
参加者：秋月真一郎、上村恵美、石岡三洋、石橋和子、大垣藍、熊田由紀子、上妻陽子、白沢史子、高橋憲治、田原光子、寺田義彦、仲村彩香、中村幸太郎、永山恭子、中原聡子、馬場良子、牧英子、松本巧、丸山真由美、宮野郁子、山本康雄、山田善重、湯浅順子、笠雅子、以上(五十音順) 24名



夜は仲良くノミネーション



朝昼は大切なコミュニケーション



平成19年度特定非営利活動に係わる事業
貸借対照表

平成19年12月31日現在
特定非営利活動法人 国際チェロアンサンブル協会



科目	金額 (円)	科目	金額 (円)
①資産の部		②負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
現金	3,146	仮受金	17,712,824
NPO普通預金	899	預り金	0
NPO郵便貯金	28,547	未払費用 (会報誌)	0
棚卸品	902,500	借入金	0
NPO普通預金	280,010		
未収入金	120,000		
流動資産合計	1,335,102	流動負債合計	17,712,824
2.固定資産		③正味財産の部	
什器備品	17,364	前期繰越正味財産	(17,495,752)
		当期剰余金	1,135,394
固定資産合計	17,364	正味財産合計	-16,360,358
資産合計	1,352,466	負債・正味財産合計	1,352,466

楽団を指揮する来日時に合わせて、250人規模で「1000人のチェロ九州版」を開催したい、と白沢史子理事から説明があった。柏木武春理事(福岡県行橋市在住)とともに福岡在住の本会会員の協力を得、福岡県で50名、九州域内各県から10名ずつ、全国からも参集を呼びかけ、2000〜2500人規模で平和を祈念、玄界灘地震被災者への勇気づけを目的に開催したい。

4 その他
一通りの協議事項の説明を終え、出席者全員の自己紹介が行われた。その中で出てきた貴重な意見は下記のとおり。
・ぜひ常時会員1000人を目指し、もっとアピールしたほうがよい。
・大人になってからチェロを習い始めた初心者のために全曲演奏ではなく、一部の曲だけの演奏でも参加できるようなチェロアン

サンブルコンサートにしてはどうか?
・自分の地域にどんなメンバーがいるかわからず、なかなか交流の機会が持てないので、全国各地でのアンサンブル活動を活発にするためにも、会員間での名簿公開を承認してほしいか?

◎福岡..笠雅子 九州での開催ということで、このたび初めて総会に出席させていただきました。が、福岡は大方、というお隣の県への移動が、今回私にはとても長かった。博多から小倉へ行くまでの間にすでにダウン、電車で酔ってしまいました。別府湾を眺めることすらできず、ふらふらと会場入り、総会スタートとなりました。

◎福岡..上村恵美 今回、初めて総会に参加させていただきました。今までの総会では東京で開催されていたので参加できず、送られてきた書類を見ても何か他人事のような気がしていましたが、今回参加してみても、なんだかやっとなんか自分も会員なんだと実感が湧きました。総会では、予算の話から会員を増やすためにどうしたらいいか、来年の福岡でのチェロのイベントのことや、そして再来年の1000人チェロのことが話題に出て、すごくワクワクしました。まだまだ先の話のような気がしますが、またあつという間に本番になつちやうなうなあと思いました。大変だろうけど、やり甲斐のあることなんで楽しそうです。また皆さんと力を合わせてがんばりたいです。

◎東京..原光子 一昨年、昨年は、理事以外は2〜3名という寂しい(?)総会でしたが、今回は福岡、佐賀を中心に20名以上も参加していただき、賑やかな総会となりました。私もはじめは自分は大分は遠い...と思っておりましたが、いつもはお目にかかれない九州地区の方々とお目にかかれてよかったです。きつと皆さんも、総会のお知らせがあつても

総会に参加して
◎福岡..笠雅子 九州での開催ということで、このたび初めて総会に出席させていただきました。が、福岡は大方、というお隣の県への移動が、今回私にはとても長かった。博多から小倉へ行くまでの間にすでにダウン、電車で酔ってしまいました。別府湾を眺めることすらできず、ふらふらと会場入り、総会スタートとなりました。

◎福岡..上村恵美 今回、初めて総会に参加させていただきました。今までの総会では東京で開催されていたので参加できず、送られてきた書類を見ても何か他人事のような気がしていましたが、今回参加してみても、なんだかやっとなんか自分も会員なんだと実感が湧きました。総会では、予算の話から会員を増やすためにどうしたらいいか、来年の福岡でのチェロのイベントのことや、そして再来年の1000人チェロのことが話題に出て、すごくワクワクしました。まだまだ先の話のような気がしますが、またあつという間に本番になつちやうなうなあと思いました。大変だろうけど、やり甲斐のあることなんで楽しそうです。また皆さんと力を合わせてがんばりたいです。

◎福岡..笠雅子 九州での開催ということで、このたび初めて総会に出席させていただきました。が、福岡は大方、というお隣の県への移動が、今回私にはとても長かった。博多から小倉へ行くまでの間にすでにダウン、電車で酔ってしまいました。別府湾を眺めることすらできず、ふらふらと会場入り、総会スタートとなりました。

◎福岡..上村恵美 今回、初めて総会に参加させていただきました。今までの総会では東京で開催されていたので参加できず、送られてきた書類を見ても何か他人事のような気がしていましたが、今回参加してみても、なんだかやっとなんか自分も会員なんだと実感が湧きました。総会では、予算の話から会員を増やすためにどうしたらいいか、来年の福岡でのチェロのイベントのことや、そして再来年の1000人チェロのことが話題に出て、すごくワクワクしました。まだまだ先の話のような気がしますが、またあつという間に本番になつちやうなうなあと思いました。大変だろうけど、やり甲斐のあることなんで楽しそうです。また皆さんと力を合わせてがんばりたいです。

◎福岡..笠雅子 九州での開催ということで、このたび初めて総会に出席させていただきました。が、福岡は大方、というお隣の県への移動が、今回私にはとても長かった。博多から小倉へ行くまでの間にすでにダウン、電車で酔ってしまいました。別府湾を眺めることすらできず、ふらふらと会場入り、総会スタートとなりました。

◎福岡..上村恵美 今回、初めて総会に参加させていただきました。今までの総会では東京で開催されていたので参加できず、送られてきた書類を見ても何か他人事のような気がしていましたが、今回参加してみても、なんだかやっとなんか自分も会員なんだと実感が湧きました。総会では、予算の話から会員を増やすためにどうしたらいいか、来年の福岡でのチェロのイベントのことや、そして再来年の1000人チェロのことが話題に出て、すごくワクワクしました。まだまだ先の話のような気がしますが、またあつという間に本番になつちやうなうなあと思いました。大変だろうけど、やり甲斐のあることなんで楽しそうです。また皆さんと力を合わせてがんばりたいです。

◎福岡..笠雅子 九州での開催ということで、このたび初めて総会に出席させていただきました。が、福岡は大方、というお隣の県への移動が、今回私にはとても長かった。博多から小倉へ行くまでの間にすでにダウン、電車で酔ってしまいました。別府湾を眺めることすらできず、ふらふらと会場入り、総会スタートとなりました。

◎福岡..上村恵美 今回、初めて総会に参加させていただきました。今までの総会では東京で開催されていたので参加できず、送られてきた書類を見ても何か他人事のような気がしていましたが、今回参加してみても、なんだかやっとなんか自分も会員なんだと実感が湧きました。総会では、予算の話から会員を増やすためにどうしたらいいか、来年の福岡でのチェロのイベントのことや、そして再来年の1000人チェロのことが話題に出て、すごくワクワクしました。まだまだ先の話のような気がしますが、またあつという間に本番になつちやうなうなあと思いました。大変だろうけど、やり甲斐のあることなんで楽しそうです。また皆さんと力を合わせてがんばりたいです。

◎福岡..笠雅子 九州での開催ということで、このたび初めて総会に出席させていただきました。が、福岡は大方、というお隣の県への移動が、今回私にはとても長かった。博多から小倉へ行くまでの間にすでにダウン、電車で酔ってしまいました。別府湾を眺めることすらできず、ふらふらと会場入り、総会スタートとなりました。

◎福岡..上村恵美 今回、初めて総会に参加させていただきました。今までの総会では東京で開催されていたので参加できず、送られてきた書類を見ても何か他人事のような気がしていましたが、今回参加してみても、なんだかやっとなんか自分も会員なんだと実感が湧きました。総会では、予算の話から会員を増やすためにどうしたらいいか、来年の福岡でのチェロのイベントのことや、そして再来年の1000人チェロのことが話題に出て、すごくワクワクしました。まだまだ先の話のような気がしますが、またあつという間に本番になつちやうなうなあと思いました。大変だろうけど、やり甲斐のあることなんで楽しそうです。また皆さんと力を合わせてがんばりたいです。

平成20年度事業別収支予算

平成20年1月1日～平成20年12月31日まで

収入	合計	本会計	書籍会計
入会金収入	70,000	70,000	
年会費収入	700,000	700,000	
参加登録収入	0	0	
チケット収入	0	0	
公演収入	0	0	
広告料収入	60,000	60,000	
書籍収入	30,000		30,000
寄付金	50,000	50,000	
受取利息	0	0	
雑収入	0	0	
合計	910,000	880,000	30,000

支出	合計	本会計	書籍会計
仕入	9,000		9,000
会報費	210,000	210,000	
郵送費	180,000	180,000	
公演費	0		
消耗品費	10,000	10,000	
旅費交通費	250,000	250,000	
印刷費	50,000	50,000	
運送費	10,000	10,000	
通信費	60,000	60,000	
交際費	0	0	
公租公課	0	0	
著作権料	0	0	
翻訳料	20,000	20,000	
支払手数料	5,000	5,000	
支払利息	0	0	
合計	804,000	795,000	9,000
差引収支	106,000	85,000	21,000

単位円

平成19年度事業別収支決算

平成19年1月1日～平成19年12月31日まで

収入	合計	本会計	エッセンクレナ 会計	イクサオン会計	書籍会計
入会金収入	84,500	84,500			
年会費収入	682,000	682,000			
参加登録収入	20,000		20,000		
チケット収入	3,883,200			3,883,200	
公演収入	1,447,200			1,447,200	
広告料収入	0	0			
書籍収入	48,935				48,935
寄付金	233,500	33,500		200,000	
受取利息	366	366			
雑収入	2,010	2,010			
合計	6,401,711	802,376	20,000	5,530,400	48,935

支出	合計	本会計	エッセンクレナ 会計	イクサオン会計	書籍会計
仕入	17,000	0			17,000
会報費	155,000	155,000			
郵送費	169,315	169,315			
公演費	4,867,293			4,867,293	
消耗品費	9,893	9,893			
旅費交通費	2,000	2,000			
印刷費	0	0			
運送費	0	0			
通信費	33,558	33,558			
交際費	0	0			
公租公課	0	0			
著作権料	6,848	6,848			
翻訳料	0	0			
支払手数料	4,110	4,110			
支払利息	290	290			
合計	5,266,317	382,024	0	4,867,293	17,000
差引収支	1,135,394	420,352	20,000	663,107	31,935

単位円

そんな遠くまで無理!と思われたいと思いが、ぜひ年に1度の観光のつもりで参加いただけたらと思います。コンサートよりもゆつくりできるし、会員の仲間意識も芽生えるような気がします。ぜひぜひ次回回は、

皆で行きましょう。一人でも多くの皆さまのご参加をお待ちしています。最後になりましたが、今回主催の大方では、白沢さんはじめ、大方軍団の方々には本当に世話になりました。どうもありがとうございました。

information board

掲 示 板

第4回「チェロアンサンブル・コンテスト in かさおか」を開催

2008年5月18日(日) 開場: 13:30 開演: 14:00
笠岡市保健センター ギャラクシーホール
(岡山県笠岡市十一番町)

■主催
チェロアンサンブル・コンテスト in かさおか実行委員会
NPO国際チェロアンサンブル協会中国支部
いかさ市民音楽協会
笠岡放送(株)

■特別協力 NPO国際チェロアンサンブル協会

■審査員 松下 修也(委員長)ほか

■表彰 上位3団体

■参加費 1団体当たり 5,000円

1人当たり 1,500円

(NPO会員以外は、1人当たり3,000円)の合計金額

■持ち時間 1団体10~15分程度

■演奏形態

・参加団体によるアンサンブルコンテスト

・チェロアンサンブルサロン

※時間の許す限り、自由参加でアンサンブルをお楽しみください。

■申し込み 別添の参加申込書に必要事項を入力して、下記アドレスへ送信してください。コンテスト参加費及び打ち上げ参加費は、下記郵便口座へ入金してください。

■郵便口座 記号 15470 番号 20379721

名義 中村幸太郎

■申込先

アンサンブルコンテスト実行委員会事務局 中村幸太郎
E-mail kchtaro@kcv.ne.jp (tel.090-3746-8923)

■提出期限 4月30日

■打ち上げ 5月18日(日)コンテスト終了後実施

参加費は、1人当たり3,000円。

※原則としてNPO会員に限りませんが、会員以外の希望者は、1人当たり4,000円。当日の申し込みも受け付けますが、準備の都合上、人数把握の必要があるためなるべく事前にお申し込みください。

■練習予定 【参加団体によるリハーサル】

・5月17日(土) 13:00~17:00

・5月18日(日) 9:30~12:00

※希望時間帯をお知らせください。実行委員会事務局で調整します。

■その他

ご意見・ご要望などは、実行委員会事務局までメールでお願いします。

前回から、グループとしての参加はできないが個人的には参加したいという方々のために、個人での申し込みも受け付けるようにしています。

その際、日本アマチュア演奏家協会(APA)への入会申し込み時のグレードの申告(右に詳細があります)と同様に自己申告をお願いします。それを参考にしてそれぞれのレベルに合ったグループ分けをし、その臨時編成のグループでエントリーの後、前日に練習をして参加することになります。個人として参加を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

総会のあとは、初の試みでチェロアンサンブルを楽しみました



♪♪懇親会♪♪

5月17日(土) 18:00頃~ 有志による懇親会
準備の都合がありますので、参加希望者は、申込書へ記入ください。

日本アマチュア演奏家協会(APA)への入会申し込み時の自己申告グレード

- ・P(プロ): 音大などを卒業した職業音楽家
- ・A(優): 相当規模のオーケストラで独奏した経験があるか、またはその実力のある方。および室内アンサンブルのリーダーとして相当の経験があるか、またはその実力のある方。
- ・B(良): 相当のレパートリーで若干の予備練習によって、アンサンブルの主要メンバーとなり得る方。
- ・C(可): 合奏を愛好し、ある程度の個人練習(事前練習)によって、ミニマムの合奏技術を発揮できる方。
- ・D(初心者): 練習中であり、合奏に参加できるまでにしばらく時間がかかる方。

Face Talk

No.3 藤井直



「半世紀の音楽遍歴」

神戸出身/現住所・千葉/単身赴任先・四日市の藤井直です。会報に新設された自己紹介コーナーの初回に掲載されるという栄誉を浴すことになり感謝申し上げます。

私は昭和30年(未年)に生まれて、はや半世紀が経ちました。その間の音楽との関わりについてこの機会にざっと顧みたいと思います。

記憶の最も奥底に残っている音楽は「赤い靴履いてた女の子〜♪、異人さんに連れられて行っちゃった〜♪」と「お猿の籠屋だホイさっさ」。短調と長調の性格の違いを楽しみながらペラペラのソノシートで何度も聴きました。最初買ったレコードは小学校5年生音楽教材用の45回転EP盤。音楽の授業で聴いた「春の海」「タンホイザー行進曲」などが忘れられず、レコード屋さんで無理をお願いしてわざわざ取り寄せてもらいました。それは今でも持っています。お婆さんから中古のステレオプレーヤーをもらって最初に聴いたのがカラヤン・ベルリンフィルの「新世界」。それこそレコードがすり切れるほど繰り返し聴きました。その後どんどんクラシックの魅惑の世界にはまり込んでいき、「運命」「合唱」「未完成」「悲愴」などを小説を読むように

今まで「CELLISSIMO」にはいろいろな方々に原稿をお寄せいただきましたが、

イベントに参加された方などに偏りがちでした。

そこで、今回より会員の方全員に、自己紹介をしていただくという壮大な企画のもとに、

会員番号順の紹介コーナー「Face Talk」を設けました。

トップバッターはNo.3の藤井直さんです。

最初から最後までかぶりついて聴きました。そのうちに右スピーカーから聞こえてくる艶やかな響きの楽器に興味を持つようになりました。伴奏をしていたかと思うと、パッとスポットライトを浴びてメロディーを弾き出すという変わり身の良さにも興味を持ちました。この楽器がチェロであることを知ったのはしばらく経ってからのことでした。

またNHKFM放送のクラシック番組でいろいろな曲を知りましたが、心臓の鼓動が高鳴る曲がいくつかありました。とくに強い印象が残っているのはブラームスのピアノ協奏曲第2番の第二楽章のトリオ部分冒頭です。

高校に入って弦楽部の見学に行ったときにそこで演奏していたのが「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」でした。窓越しに聴いたからか、清らかな響きに感動しました。古びた大学オーケストラ練習場に初めて行ったときに練習していたのがエロイカ。とくにヴァイオリンパートの素晴らしい合奏力に圧倒されました。これがフルオーケストラの響きを間近で聴く初めての経験でした。狭くて古くさい練習場で美しい響きを求めて練習する様子は、道場のような雰囲気を感じたものです。最も印象に残っている演奏会は朝比奈隆指揮の「マイスタージンガー第一幕への前奏曲」、ブルッフのヴァイオリン協奏曲(徳永二男氏)、ベートーヴェンの交響曲第7番のプログラム。チェロパートのトップサイドで弾かせてもらったので、朝比奈氏の鼻息や唾しぶきがかかってくる、大きな船に乗っているようなライブ感でした。

社会人になってからも名古屋市民管弦楽団、市原フィルハーモニー管弦楽団のほか、いくつかのアンサンブルを経験してきました。そんな中、高校弦楽部の先輩である松本巧様に声をかけていただいて「100人のチェロ・コンサート」に参加することになりました。これまでの大きなイベントにはす

べて参加しています。中でも2002年春に横浜とソウルで共同開催した「日韓親善チェロコンサート」は高円宮様とご一緒でき、貴重な思い出になっています。その感動をいつまでも! ということで、横浜公演のコンサートマスターをお願いした佐久間豊春さんを中心に結成したチェロ・アンサンブルが「チェリッシモ・ブラビッシモ!」です。

<http://sound.jp/cellissimo/>

私の心にもいつもその音楽が鳴っている作曲家はシューマン、最近あらためて凄いと感じている作曲家はリヒャルト・シュトラウスです。これからもクラシックの大きな森を散策しながら、チェロアンサンブルの醍醐味を味わっていきたくて願っています。



ピンボケ風ですがカフェバーでのライブ風景。個人的に大好きな写真です

さあ、次はあなたです!

今後は毎回10~20名のご紹介を予定しています。NPO国際チェロアンサンブル協会との出会いなどをご紹介ください。また、現在の活動のご様子などどんなことでもOKです。順番が回ってきたときには、ぜひご協力をお願いします。

第1回モスクワチェロフェスティバル (ロストロポーヴィチ氏追悼)に招かれて

ボリス・アンドリヤノフ氏とのご縁

ヴァインズハイマー氏が3年前から私に「信じられないくらいに素晴らしいロシアの若手チェリストがいる」、「ボリス・アンドリヤノフと言ったら口は無論だが、ギターとのデュオをいつもやっている」、「一度ぜひ日本に呼ぶべきだ…」と言うのでした。私は、ヴァインズハイマー氏のこのような毎回の言葉に、適当に返事ははぐらかしたりしていました。

そうやって2年ほど経った昨夏にアンドリヤノフ氏から突然メールが届き、彼のコンサートの案内や別便でCDを送ったので聴いて欲しいといった要請が届きました。

その後、昨年12月に彼から「2月下旬に第1回モスクワチェロフェスティバルをオーガナイズし、自身もチェロを弾くのでぜひ来て欲しい」との依頼が届き、今回のモスクワ訪問となった次第です。

今回はアンドリヤノフ氏とモスクワフィルハーモニー(以下Mフィル)の公式の招きで訪問することになりました。会期は1週間ですが、私は都合で2日間しか滞在できませんでした。その2日間のオープニングの感想と報告をお届けしたいと思います。

モスクワコンセルバトリウム(モスクワ音楽院)

私のホテルからコンサート会場まではほんの歩いて3分ほどでした。Mフィルのプロデューサーのアナスターシャ女史は、私をモスクワでも有名な「モスクワコンセルバトリウム(モスクワ音楽院)大ホール」に案内してくれました。ロビーでは何とゲリンガスの奥様のタチアナさんとばったり出会いました(写真)。彼女も大変驚かれ、まさかの出会いにお互いが喜び合いました。会員の土田聖子さんたちと一昨年(福岡)でお会いして以来、とは思えないほど時間の経過を感じませんでした。



アナスターシャは私のためにフェスティバルのプログラムを用意してくれましたが、残念なことにすべてロシア語表記なので読むことができません。なんとか彼女の英語の翻訳で、初日21日のプログラムを知ることができました。

アンドリヤノフ氏の「ロココ風の主題による変奏曲」

いよいよ第一回モスクワチェロフェスティバルのオープニングコンサートの始まりです。1曲目はアンドリヤノフ氏がMフィルのオーケストラ伴奏でチャイコフスキーの「ロココ風の主題による変奏曲」です。

感心するほどの軽やかな音色で彼は早速始めました。展開部も見事なほど通奏低音部の音の変わりや歯切れよく響かせてくれ、緩急楽章の有名なメロディのピアノには身震いをするほどの感動を覚えました。コーダのあの速い部分を木管との和声・リズムをバッチリと決め、申し分のない世界的ソリストの出現を見た瞬間でした。彼は今年31歳、今後どこまで伸びていくのでしょうか。大変素晴らしい逸材であることは確かで、日本にはまったく知られていないこと自体が不思議なくらいでした。

ソリマ氏の自作自演

2曲目はアンドリヤノフ氏が、ドイツのクロンベルグのチェロフェスティバルで知り合ったイタリアのチェリストで、作曲家のジョヴァンニ・ソリマ氏の自作自演の曲でした。

ソリマ氏のオーケストラとチェロデュオ曲

3曲目はやはりソリマ氏作曲によるオーケストラと2台のチェロによるもので、アンドリヤノフ氏とソリマ氏のお二人の共演でした。A線のオクターブ上のみから上の音がほとんど親指主体の高音域の構成でしたが、初めてのデュオ演奏とは思えない見事なハーモニーに感心しました。

チャイコフスキーの交響曲第5番

休憩を挟んでト리는チャイコフスキーの交響曲第5番です。このモスクワコンセルバトリウムはチャイコフスキーが学び、後の1866年に教鞭を取った場所です。そして舞台上に並ぶのはやはり彼の後輩たちによるオーケストラ。これ以上の本場を感じることはできない醍醐味でした。

夕食をともに

アンドリヤノフ氏は私をほとんどかモスクワの音楽家がメンバーという会員制レストランに案内されました。22時を少し回っていました。すでにアンドリヤノフ氏のご両親、若くて美しい奥様のエレナさん、作曲家でチェリストのソリマ氏、同氏の奥様でチェリストのモニカ・レスコヴァルさん、コンサートマスターの方(お名前不明)、そしてデュオ仲間のギタリストトジミトリーたちが待っていました。全部で10人ほどの食卓でした。

私は一通りの料理の後、A氏がモスクワで初めてチェロフェスティバルを立ち上げられたことを称賛し、その準備と熱意が普通の人にはできるものではないこと、アンドリヤノフ氏はチェロが世界的レベルにあるだけでなく、このようなお世話を献身的になさっておられ、その姿は世界に誇れるものだと申し上げました。同席のご両親、奥様たちは私の麻に脳が奪りお礼の言葉をくださいました。

ロストロポーヴィチ氏のお墓まいり

翌21日、市内ど真ん中の著名人が多数埋葬されている墓地に、ロストロポーヴィチ氏のお墓を訪ねました。氏の20m左には、氏の4日前に亡くなったエリツィン前大統領のお墓がありました。少し離れた別のところにはチェーホフ、ゴーゴリ、コークン、ショスタコーヴィチ他、著名な



方々のお墓がありました。

写真でおわかりかどうか、墓標は木製で名前と生年月日、死亡日を書いただけの簡単なものです。これは葬祭のため、埋葬後一年少ししてから、正式な大理石などの墓標への準備段階です。

私はロストロポーヴィチ氏の墓前で、氏が晩年は後進の育成のための基金活動、そして平和活動、献身的に活躍されたこと、そして2005年のインターナショナル・チェロ・コンGRESを私たちのNPOと一緒にやり遂げてくれたことへの尊敬と感謝をお伝えし、私たちの活動を天空から見守ってくださることをお願いし、祈ってまいりました。

お墓まいりを終えて

その後ホテルに戻りお互い、私はデスクワーク、アンドリヤノフ氏はフェスティバルの仕事、モニカとジョヴァンニは22日のデュオの練習に時間を費やし、2200に再びホテルロビーで私が翌朝早くに発つので、ワイン、カクテルで2時間ほど取り留めのない話で和みました。

ソリマ氏は、ご自身作曲しながらチェロの可能性を自在に探っておられる方で、例えば、ノットタイムとともに歩きながら弾いたり、あるいは指だけ肩から足に引く振りで弱めない状態で弾いたり、あるいは木ではなく、氷」でできたチェロやヴィオラでのアンサンブルをしたり、それはそれは破天荒な自由人的チェリストです。

前述のアンドリヤノフ氏の車でモスクワ市内を回っている最中であり、しょっちゅうクラクションや、他の車の騒音や、街のいろいろな音をすくなく音楽に変えて口ずさんだりしていました。

わずか1日半のモスクワ滞在でしたが、アンドリヤノフ氏のホスピタリティと一流の人々がけがれもし出す本物の魅力的な世界を共有できたことに十分な満足を感じました。今回未成年ということで、参加希望をされながら参加できなかった寺田雅美さんには、「第2回モスクワチェロフェスティバル」にぜひ参加していただきたいと思います。

アンドリヤノフ氏が日本で演奏でき、それを皆さんに聴いていただくにはぜひぜひ素晴らしいことでしょうか? アンドリヤノフ氏招聘の夢を見ながら本日、帰国の途に着きました。

2008年2月23日

NPO国際チェロアンサンブル協会 松本巧

New Face

高橋憲治(No.011213)



中学校にブラズバンドができた時、初恋の人に誘われて入部して初めて手にした楽器がトロンボーンでした。

高校にはブラズバンドがなかったため、入学祝に買ったもらったフルートで初めてレッスンというのを受けました。

大学でオーケストラを始めたところフルートには音感がなく、へ音記号の楽譜を経験したことからチェロにチャレンジすることとなりました。

以来40年、転勤するたびにも市民オーケ

ストラを渡り歩き、ついには市民オーケストラ運営が仕事になってしまいました。しかし郷里の名古浜に戻っていつまでも手元の横好きではいけないと思え、チェロのレッスンを再開するも、英会話と同じく何年やっても進歩せずという悲しい思いをしています。やはりセロ弾きのゴージャスではなく、シュガー(酒豪)を目指そうと、酒好きのチェロ仲間を求めて加入しました。

熊田由紀子(No.011214)

名古屋出身。3歳よりピアノを始めました。名古屋市立築地高等音楽学校音楽科、武蔵野音楽大学卒業。チェリストとの共演をきっかけに、チェロを始めました。以来、ピアニストとして活動するかわり、アマチュア演奏アンサンブルでチェロを演奏しています。現在、名古屋音楽学校で講師をしています。

NPOに寄付くださった皆様

2007年度にNPOに寄付をくださった方々です。どうもありがとうございました。(敬称略)

- 宮坂 光江
- 中川 恵子
- 藤代 庄司
- 戒能 秀雄
- 渡辺 亮
- 桜井万利子
- 鍛冶本建二
- 坪水 敏夫
- 安西吉二郎
- 角谷 輝彦
- 松谷 憲一
- 石井 陽子
- 森 加代

柳沢勝様、ありがとうございます。

イクシオーントリオに、はるか函館、魚長食品の社長/故柳沢勝氏が20万円をご協賛くださいました。本来函館でも同トリオのコンサートを主催して下さる予定でしたがその代わりにご厚意をいただくことになりました。氏は一代で本業の魚屋さんから函館を代表する一大観光事業会社として函館経済の牽引的存在まで築き上げた方でした。氏は事業だけでなくシガポール政府の名譽領事として同国と日本の友好にも尽くされました。また、1993年に

当時のドイツ政府迎賓館総料理長のH.ダニエル氏を招聘して、天皇陛下が同迎賓館で召上がったお料理をダニエル氏ご自身に調理していただき、函館の皆様にご紹介もされました。このように氏は事業家としてだけでなく、国際・文化交流の面でも多くの功績を残されました。ここに謹んで感謝とともに哀悼を捧げたいと存じます。柳沢さん、どうか安らかに。本当にありがとうございました。合掌 NPO国際チェロアンサンブル協会理事長 松本巧

会費
お支払いの
お願い

会費支払いのご案内も同封させていただいておりますが、ぜひ早いうちにお支払いをお願いします。「1,000人チェロ・コンサート」際にも、今後は会員所属年数によって、いろいろな特典を設けたいと考えております。期日までに支払いが済むと会員資格がなくなり、再入会には2,000円がかかります。あ

とでいいやと思っていると忘れてしまいますので、ぜひ今すぐ郵便局に直行ください。また、周りの方々にも声をかけあい、お忘れなきようお願いいたします。なお、総会でも意見があがっているとおり、新会員も募集中です。お知り合いの方にもぜひお声をかけて入会をお勧めいただけますよう重ねてお願いいたします。